

SPARC Japan News Letter 第2号 企画書

H21.8.3

発行目的

SPARC Japan の活動状況を報告し、合わせて、広く、学術情報流通の潮流を示す。

対象者 図書館、学会、研究者

企画

創刊号の様式は踏襲する。その上で、以下の二点を新たな企画として提案する。

「電子ジャーナル時代における学術情報への理解を深める」

「図書館、図書館員からの機関リポジトリ等の現状」

具体案

- ・ 特集記事 国内外の学術情報流通の状況を踏まえ、事例紹介、報告、また論文などを含めた、新たな情報提供となる記事
- ・ 電子ジャーナル時代の新用語解説・わかりやすく、簡単に明解に誰にでも理解できることを主目的とする。
- ・ 日本の学術誌紹介 学会設立年、会員数、ジャーナル名、発信プラットフォーム
デジタルコンテンツのスペック DTD 査読システムの利用状況
機関リポジトリ方針 オープンアクセス対応 今後の戦略
- ・ わが機関リポジトリを語る

第2号 記事案

特集記事 物質材料機構ジャーナルはなぜオープンアクセス誌の道を選択したか

谷藤 幹子

トピックス 電子ジャーナル時代の新用語 「オープンアクセス 図書館の立場から」

三根 慎二

トピックス わが機関リポジトリを語る 北海道大学 杉田 茂樹

日本の学術誌 第1回 化学工学会 山下 和子

第1回 SPARC セミナーへ参加して 前田 信治

裏表紙 2009年度 SPARC Japan Seminar

スケジュール ; 8月初旬(内容決定、原稿依頼) 8月末(原稿締切) 9月初旬(入稿)
9月中旬(初校受け・戻し) 10月末(発行)

ページ数 ; 12 ページ

以上